

令和6年度

山梨県総合教育センター 一般留学生募集

先生自身の「深い学び」を目指して

山梨県総合教育センターには、現場の先生方が、1年間所属校を離れ、一般留学生として研究・研修を行い、教職員としての資質・能力を高めることができる制度があります。詳細はセンターのHPをご覧ください。

研修期間

令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

募集期間

令和5年9月中旬を予定

募集人数

公立小学校・中学校、県立学校から若干名

申込方法

8月下旬に各校に送付される募集要項でご確認ください。総合教育センターのHPにも掲載されます。

(<https://www.ypec.ed.jp/>)



問い合わせ先

山梨県総合教育センター

学校教育支援部調査研究課

所在地：山梨県笛吹市御坂町成田1456

電話番号：055-262-6180

課長：重田 誠 担当：角田 恵一



YAMANASHI PREFECTURAL
EDUCATION CENTER

総合教育センターで 研究・研修をしてみませんか

令和6年度 山梨県総合教育センター 一般留学生の募集が始まります！

来年度の「一般留学生」の募集要項が8月下旬に発表になり、各学校に送付されます。（同時に山梨県総合教育センターホームページにもアップされます。）詳しい内容は募集要項で確認していただくこととなりますが、例年寄せられる質問への回答集を作成しましたので参考にしてください。多くの先生方の応募をお待ちしています。

Q1

一般留学生とはどのような制度ですか。

A1

1年間学校現場を離れ、研究及び研修に励むことで教職員としての資質・能力を高め、本県学校教育の振興に資することを目的とした制度です。教育公務員特例法の規定による「現職のままでの長期にわたる研修」扱いとなります。

Q2

募集人数は何人ですか。

A2

若干名の募集となる予定です。選考は筆答及び面接検査により総合的に判断されます。受け入れ実績は、令和4年度は2名、令和3年度は1名、令和元年度は2名でした。

Q3

研究の指導は誰が担当しますか。

A3

基本的にはセンターの指導主事が担当します。内訳は主担当指導主事が1名、支援グループの指導主事が3名程度、調査研究課の担当指導主事（世話人）が1名となります。また、県内の学校で活躍している教職員による協力員部会（5名程度）も組織されます。

Q4

所属校での勤務や関わりはどうなりますか。

A4

総合教育センターでの勤務（研究及び研修）が原則となりますので、所属校での勤務は原則ありません。ただし、月1回の研究・研修報告や検証授業等で所属校へ出向くことはあります。所属校が研究の協力校となりますので、所属校で授業等を行うことがあります。

Q5

センターでの勤務時間はどうなっていますか。

A5

勤務時間は8時30分から17時15分です。12時から1時間の休憩時間があります。

Q6

給与等はどのようにですか。

A6

所属校に勤務していたときと同じ給与体系となります。通勤手当は自宅からセンターまで支給されます。

Q7

研究・研修の費用はどのくらいかかりますか。

A7

基本的には必要ありません。但し、外部の研修会等への受講費は個人負担となります。

Q8

研究の内容はどのようなものですか。

A8

下の1～9の中から研究内容を決定する予定です。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 「教科・領域指導における言語活動の充実に関する研究」 | 6. 「教育相談に関する研究」 |
| 2. 「理数教育の充実並びに指導方法の改善に関する研究」 | 7. 「特別な支援を必要とする児童・生徒への指導内容及び指導方法に関する研究」 |
| 3. 「教科・領域等における目標と指導と評価の一体化に関する研究」 | 8. 「地域に根ざした伝統や文化を活用した指導方法の研究」 |
| 4. 「道徳教育の充実に関する研究」 | 9. 「学習指導要領を踏まえた今日的教育課題に関する研究」 |
| 5. 「情報教育の充実及びICTの活用に関する研究」 | |

☆過去の研究テーマ例

<令和4年度>

- 小学校国語科における「書くこと」の指導方法の研究 – 意見文を書く過程に「ワークシート」を取り入れることを通して–
- 小学校外国語科における児童の話すこと〔やり取り〕の質を高める授業実践
– 疑問文を活用する力を伸ばす継続的な活動（帯活動）を通して–

<令和3年度>

- 「考え、議論する」道徳科の授業に関する研究 – 深い学びにつながる発問を中心とした指導方法を通して–

Q9

研修の内容はどのようなものですか。

A9

- 所長・次長等による講義（教育課題研修会）
- 指導主事による講話会（教科・学力対策・ICT・道徳・特別活動・教育相談・生徒指導・特別支援教育等）
- コアサイエンティチャー養成プログラム（CST：山梨大学、小学校及び中学校理科教諭対象）

等があります。それ以外にも、センターで行う研修会の中で希望するものやセンター以外の公的機関が開催する研修会への参加も可能です。

【この件に関する問い合わせ先】 TEL 055-262-6180

山梨県総合教育センター

学校教育支援部調査研究課

課長：重田 誠

担当：角田 恵一